

【表紙】

| | |
|------------|-------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 近畿財務局長 |
| 【提出日】 | 2019年11月5日 |
| 【四半期会計期間】 | 第44期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日） |
| 【会社名】 | 株式会社タクミナ |
| 【英訳名】 | TACMINA CORPORATION |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 山田 信彦 |
| 【本店の所在の場所】 | 大阪市中央区淡路町二丁目2番14号 |
| 【電話番号】 | 06（6208）3971 |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員 吉田 裕（経理部長） |
| 【最寄りの連絡場所】 | 大阪市中央区淡路町二丁目2番14号 |
| 【電話番号】 | 06（6208）3971 |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員 吉田 裕（経理部長） |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第43期 第2四半期連結 累計期間 | 第44期 第2四半期連結 累計期間 | 第43期 |
|----------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自2018年4月1日 至2018年9月30日 | 自2019年4月1日 至2019年9月30日 | 自2018年4月1日 至2019年3月31日 |
| 売上高 (千円) | 4,289,183 | 4,122,560 | 9,162,293 |
| 経常利益 (千円) | 635,601 | 515,255 | 1,440,400 |
| 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円) | 440,600 | 354,438 | 1,018,370 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 404,003 | 365,919 | 911,347 |
| 純資産額 (千円) | 6,438,689 | 6,988,004 | 6,873,749 |
| 総資産額 (千円) | 10,378,166 | 10,668,922 | 11,020,292 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 (円) | 61.32 | 49.33 | 141.73 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 62.0 | 65.5 | 62.4 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー (千円) | 513,961 | 673,505 | 1,203,518 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー (千円) | 75,172 | 228,978 | 270,152 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー (千円) | 247,274 | 267,630 | 379,492 |
| 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円) | 1,477,297 | 2,007,986 | 1,839,137 |

| 回次 | 第43期 第2四半期連結 会計期間 | 第44期 第2四半期連結 会計期間 |
|-----------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自2018年7月1日 至2018年9月30日 | 自2019年7月1日 至2019年9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益 (円) | 37.74 | 29.51 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景として、緩やかな回復基調が継続しました。一方、海外では、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速懸念、英国のEU離脱問題など世界経済の不確実性の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループを取り巻く受注環境は、企業の設備投資計画に慎重な姿勢が見られ、中でも海外向けは、韓国企業の設備投資が一服したことにより、低調な結果となりました。

主な品目別販売実績は、以下のとおりです。

定量ポンプの国内市場は増収となりました。主力の「スムーズフローポンプ」は食品・飲料業界向けをはじめ、二次電池・積層セラミックコンデンサ市場やファインケミカル、製鉄業界向けでも堅調に推移しましたが、汎用モーターポンプは、前期に活発であった滅菌・殺菌市場の需要に減速感があり、数字を落としました。

海外市場は、前期の大型投資の反動で減収となりました。期初の見込み通り、韓国の二次電池業界における設備投資の動きが一服し、「スムーズフローポンプ」の売上が減少したほか、米国でもソレノイドポンプ及び汎用モーターポンプの販売が低迷し、前年同四半期を下回りました。

微量制御型スムーズフローの「Qシリーズ」は、2015年の発売開始以来、新たなお客様との出会いを創出し、ユーザーの要求に応えラインナップを拡充したことにより、幅広い用途で評価をいただけるようになりました。実験・ラボ段階から本ラインへのスケールアップによる「スムーズフローポンプ」の販売に繋がり、今後の業績貢献が期待されます。

ケミカル移送ポンプは、「ムンシュポンプ（高耐食ポンプ）」が国内外の製鉄プラント向けに好調に推移し、売上を伸ばしました。

計測機器・装置は、水処理設備向けに「pH中和処理装置」の大型物件や設備更新案件などを受注したことにより、前年同四半期を上回りました。

流体機器及びケミカルタンクは、多くの業界向けで、売上が伸び悩みました。

以上の結果、売上高は、41億22百万円（前年同四半期比3.9%減）と減少しました。利益面につきましては、原価率が上昇したほか、減収要因が大きく響き、売上総利益は、18億61百万円（同5.1%減）と減少しました。また、事業体制の強化に伴う人件費の増加により販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は、5億円（同19.5%減）、経常利益は、5億15百万円（同18.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、3億54百万円（同19.6%減）とそれぞれ減益となりました。

(2) 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3億51百万円減少し、106億68百万円となりました。

流動資産は4億92百万円減少し、64億78百万円となりました。主な増減内訳は、現金及び預金の増加1億44百万円、売上債権の減少6億23百万円であります。

固定資産は1億40百万円増加し、41億90百万円となりました。主な増加内訳は、無形固定資産の増加12百万円、投資その他の資産の増加1億29百万円であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて4億65百万円減少し、36億80百万円となりました。

流動負債は6億77百万円減少し、25億26百万円となりました。主な減少内訳は、仕入債務の減少1億77百万円、短期借入金の減少2億15百万円、未払法人税等の減少1億73百万円であります。

固定負債は2億11百万円増加し、11億54百万円となりました。主な増加内訳は、長期借入金の増加2億円でありす。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1億14百万円増加し、69億88百万円となりました。主な増加内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益3億54百万円から配当金2億51百万円の支払いを差し引いた利益剰余金の増加1億2百万円、その他有価証券評価差額金の増加19百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の62.4%から65.5%へと3.1ポイント上昇いたしました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末に比べて1億68百万円増加し、20億7百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べて1億59百万円増加し、6億73百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益5億15百万円、減価償却費1億13百万円、売上債権の減少6億19百万円による資金の増加及び仕入債務の減少1億77百万円、法人税等の支払3億29百万円による資金の減少によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べて1億53百万円支出が増加し2億28百万円の支出となりました。これは主に、投資有価証券の償還による収入1億円による資金の増加及び有形固定資産の取得による支出1億5百万円、無形固定資産の取得による支出42百万円、投資有価証券の取得による支出2億円による資金の減少によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べて20百万円支出が増加し、2億67百万円の支出となりました。これは主に、借入金の減少15百万円、配当金の支払2億51百万円による資金の減少によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発活動の金額は1億44百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 23,000,000 |
| 計 | 23,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (2019年11月5日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|--|-----------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 7,728,540 | 7,728,540 | 東京証券取引所 市場第二部 | 単元株式数 100株 |
| 計 | 7,728,540 | 7,728,540 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|--------------------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 2019年7月1日～ 2019年9月30日 | - | 7,728,540 | - | 892,998 | - | 730,598 |

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%) |
|-------------------------------|--------------------|---------------|---|
| タクミナ共栄持株会 | 大阪市中央区淡路町二丁目2番14号 | 1,033 | 14.37 |
| 山田 信彦 | 兵庫県明石市 | 884 | 12.31 |
| 山田 義彦 | 兵庫県朝来市 | 624 | 8.69 |
| タクミナ社員持株会 | 大阪市中央区淡路町二丁目2番14号 | 385 | 5.36 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口) | 東京都中央区晴海一丁目8番11号 | 245 | 3.41 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 東京都千代田区丸の内二丁目7番1号 | 120 | 1.67 |
| 株式会社但馬銀行 | 兵庫県豊岡市千代田町1番5号 | 120 | 1.67 |
| 第一生命保険株式会社 | 東京都千代田区有楽町一丁目13番1号 | 108 | 1.50 |
| 中石 貴子 | 東京都世田谷区 | 106 | 1.48 |
| 山田 裕子 | 兵庫県明石市 | 106 | 1.48 |
| 計 | - | 3,733 | 51.94 |

- (注) 1. 当社は自己株式 539千株(持株比率6.98%)を所有しております。
2. 上記日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は245千株であります。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------|----------|----------------|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 539,200 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 7,172,700 | 71,727 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 16,640 | - | 1単元(100株)未満の株式 |
| 発行済株式総数 | 7,728,540 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 71,727 | - |

【自己株式等】

2019年9月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株 式数(株) | 他人名義所有 株式数(株) | 所有株式数の 合計(株) | 発行済株式総数に対 する所有株式数の割合 (%) |
|----------------|-----------------------|------------------|------------------|-----------------|--------------------------------|
| 株式会社タクミナ | 大阪市中央区淡路町 二丁目2番14号 | 539,200 | - | 539,200 | 6.98 |
| 計 | - | 539,200 | - | 539,200 | 6.98 |

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,937,437 | 2,082,286 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,894,188 | 3,271,049 |
| 商品及び製品 | 89,310 | 123,123 |
| 仕掛品 | 8,315 | 4,121 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,002,699 | 974,143 |
| その他 | 41,459 | 26,103 |
| 貸倒引当金 | 3,018 | 2,601 |
| 流動資産合計 | 6,970,393 | 6,478,225 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,496,229 | 1,475,876 |
| その他(純額) | 921,968 | 941,288 |
| 有形固定資産合計 | 2,418,198 | 2,417,164 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 108,222 | 120,224 |
| 投資有価証券 | | |
| 投資有価証券 | 873,736 | 1,001,512 |
| その他 | 650,933 | 651,794 |
| 貸倒引当金 | 1,190 | - |
| 投資その他の資産合計 | 1,523,479 | 1,653,307 |
| 固定資産合計 | 4,049,899 | 4,190,696 |
| 資産合計 | 11,020,292 | 10,668,922 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,629,756 | 1,452,200 |
| 短期借入金 | 455,324 | 240,000 |
| 未払法人税等 | 355,747 | 181,981 |
| 賞与引当金 | 260,000 | 248,000 |
| その他 | 503,369 | 404,488 |
| 流動負債合計 | 3,204,197 | 2,526,670 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | - | 200,000 |
| 退職給付に係る負債 | 716,464 | 729,016 |
| その他 | 225,882 | 225,230 |
| 固定負債合計 | 942,346 | 1,154,247 |
| 負債合計 | 4,146,543 | 3,680,917 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 892,998 | 892,998 |
| 資本剰余金 | 730,599 | 730,599 |
| 利益剰余金 | 5,426,350 | 5,529,162 |
| 自己株式 | 322,333 | 322,371 |
| 株主資本合計 | 6,727,615 | 6,830,389 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 180,180 | 200,096 |
| 繰延ヘッジ損益 | 243 | 195 |
| 土地再評価差額金 | 2,853 | 2,853 |
| 為替換算調整勘定 | 15,438 | 3,483 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 52,581 | 48,623 |
| その他の包括利益累計額合計 | 146,133 | 157,615 |
| 純資産合計 | 6,873,749 | 6,988,004 |
| 負債純資産合計 | 11,020,292 | 10,668,922 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 4,289,183 | 4,122,560 |
| 売上原価 | 2,328,946 | 2,261,399 |
| 売上総利益 | 1,960,236 | 1,861,160 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,338,355 | 1,360,746 |
| 営業利益 | 621,881 | 500,414 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,596 | 4,621 |
| 受取配当金 | 7,808 | 7,956 |
| 持分法による投資利益 | 876 | 1,317 |
| 為替差益 | - | 1,823 |
| その他 | 12,373 | 5,231 |
| 営業外収益合計 | 22,654 | 20,950 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,348 | 922 |
| 売上割引 | 3,253 | 3,988 |
| 為替差損 | 526 | - |
| 寄付金 | 3,000 | - |
| その他 | 805 | 1,198 |
| 営業外費用合計 | 8,934 | 6,109 |
| 経常利益 | 635,601 | 515,255 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 2,805 | - |
| 特別損失合計 | 2,805 | - |
| 税金等調整前四半期純利益 | 632,795 | 515,255 |
| 法人税等 | 192,195 | 160,817 |
| 四半期純利益 | 440,600 | 354,438 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | - | - |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 440,600 | 354,438 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 440,600 | 354,438 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 32,175 | 19,916 |
| 繰延ヘッジ損益 | 525 | 438 |
| 為替換算調整勘定 | 9,618 | 11,954 |
| 退職給付に係る調整額 | 4,671 | 3,958 |
| その他の包括利益合計 | 36,596 | 11,481 |
| 四半期包括利益 | 404,003 | 365,919 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 404,003 | 365,919 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 632,795 | 515,255 |
| 減価償却費 | 112,748 | 113,558 |
| 固定資産除却損 | 2,805 | - |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 77 | 1,607 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 10,425 | 12,000 |
| 退職給付に係る負債の増減額(は減少) | 28,927 | 18,593 |
| 受取利息及び受取配当金 | 9,404 | 12,578 |
| 支払利息 | 1,348 | 922 |
| 持分法による投資損益(は益) | 876 | 1,317 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 115,770 | 619,967 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 95,186 | 1,142 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 9,329 | 177,421 |
| 未払消費税等の増減額(は減少) | 2,590 | 54,674 |
| その他 | 84,033 | 15,827 |
| 小計 | 663,844 | 991,728 |
| 利息及び配当金の受取額 | 9,396 | 12,278 |
| 利息の支払額 | 1,241 | 865 |
| 法人税等の支払額 | 158,038 | 329,636 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 513,961 | 673,505 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | 37,000 | 37,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | 31,000 | 55,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 71,493 | 105,372 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 6,194 | 42,577 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 100,674 | 200,739 |
| 投資有価証券の償還による収入 | 100,000 | 100,000 |
| 投資事業組合からの分配による収入 | 11,880 | 1,570 |
| その他 | 2,690 | 141 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 75,172 | 228,978 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 230,000 | 180,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | 250,000 | 180,000 |
| 長期借入れによる収入 | - | 200,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | 46,101 | 215,324 |
| 自己株式の取得による支出 | 200 | 38 |
| 配当金の支払額 | 179,420 | 251,616 |
| その他 | 1,552 | 651 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 247,274 | 267,630 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 7,800 | 8,048 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 183,713 | 168,848 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,293,584 | 1,839,137 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,477,297 | 2,007,986 |

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が連結会計年度末残高に含まれております。

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|------|-------------------------|------------------------------|
| 受取手形 | 118,438千円 | -千円 |

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|----------|---|---|
| 給料及び手当 | 384,078千円 | 402,000千円 |
| 賞与引当金繰入額 | 139,933 | 132,089 |
| 退職給付費用 | 24,960 | 25,193 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 1,569,597千円 | 2,082,286千円 |
| 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 | 92,300 | 74,300 |
| 現金及び現金同等物 | 1,477,297 | 2,007,986 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2018年6月22日 定時株主総会 | 普通株式 | 179,741 | 25 | 2018年3月31日 | 2018年6月25日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|---------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 2018年10月19日 取締役会 | 普通株式 | 71,895 | 10 | 2018年9月30日 | 2018年11月30日 | 利益剰余金 |

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2019年6月21日 定時株主総会 | 普通株式 | 251,626 | 35 | 2019年3月31日 | 2019年6月24日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|---------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 2019年10月18日 取締役会 | 普通株式 | 143,786 | 20 | 2019年9月30日 | 2019年11月29日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ポンプ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第 2 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 9 月30日) | 当第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 9 月30日) |
|------------------------------------|---|---|
| 1 株当たり四半期純利益 | 61.32円 | 49.33円 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円) | 440,600 | 354,438 |
| 普通株主に帰属しない金額 (千円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益 (千円) | 440,600 | 354,438 |
| 普通株式の期中平均株式数 (株) | 7,185,101 | 7,184,818 |

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2019年10月18日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

配当金の総額.....143,786千円

1株当たりの金額.....20円00銭

支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2019年11月29日

(注) 2019年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月1日

株式会社タクミナ

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊東 昌一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 藤川 賢 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社タクミナの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社タクミナ及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。